

9月30日(水曜日)「長年の病の癒し」

【新改訳 2017】

ルカ 8.43-48

「ときに、12 年の間長血をわずらった女がいた。だれにも直してもらえなかったこの女は……イエスの着物のふさにさわった。……イエスは彼女に言われた。『娘よ。あなたの信仰があなたを直したのです。安心して行きなさい。』」

十二年も病に苦しむとは、大変だったでしょう。しかも、だれにも治してもらえなかったとありますから、なおさらのことです。

しかし、女はイエスさまならその着物に触れるだけでも癒してくださる、と信じて触ったのです。そして、主から力が出て癒されました。あまりのことに恐れていた女は、主の御前で主の着物に触った理由と心情を告白しました。主はその心と信仰を受け止め、癒してくださいました。

心から、本当に信頼したならば、どんなに控え目であっても、主は答えてくださいます。なんとあわれみ深いお方でしょう。新約聖書のなかったこの時代に、主はさまざまな癒しのわざ

をなして、神の国の福音と、ご自身が救い主であることを表されたのです。今日、主は色々な方法も用いて癒しの御業をしておられます。

～祈り～

主よ。まことにあなたは癒し主であられます。今、多くの病む人、特に心と精神を病んでいる人のために、あなたの恵みのみわざをなして助け、救ってください。

**【学びのために】**

癒しについて:現代の進んだ医療も、そのすべてとは言えないまでも、多くの部分が主の自然界支配の恵みによっていることを覚えて、祈りつつ受けるべきでしょう。主は、その時にもみわざをなしてくださいます。奇蹟は、まったく主のみことろと主権と力によるものです。